

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

資料1

平成26年5月30日
北海道運輸局

評価対象事業名:地域公共交通調査事業

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
砂川市地域公共交通会議	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の公共交通や高齢者等の居住状況の整理。 ・住民ニーズ把握調査 ・実証調査 ・効率的で利便性が高く持続可能な交通ネットワークの構築に向けた検討。 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的なデータの整理、バス乗降調査などにより、市内の公共交通や高齢者等の居住状況の整理した。 ・住民を対象にアンケートを実施し、買物や通院などにおける交通行動、既存路線バスの問題点などについて把握した。 ・市内全域において、有償のコミュニティバスや乗合タクシーを運行し、新たな公共交通の利用実態等を把握した。 ・新たな公共交通の導入などについて検討し、計画素案を作成した。 	A	<p>砂川市の今後の人口減少・少子高齢化の進行状況、また中心市街地の活力の低下等を考慮し、JRや既存バス路線への乗り継ぎや公共施設・商業施設への接続を考慮した新たな公共交通の導入等、効率的で利便性が高く持続可能な地域公共交通体系を構築する。</p> <p>なお、平成26年度は再度実証運行を実施し、事業の浸透を図ったなかで、利用状況や利用者の意見、交通事業者への影響などを検証し、引き続き新たな公共交通の導入について検討を進める。</p> <p>平成27年度以降、新たな公共交通の導入をすることとなった場合は、確保維持改善事業(地域内フィーダー系統)の活用を予定している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度事業の結果が速やかに新たな公共交通の導入に結びつかなかった要因等を検証し、今後の活動に反映するとともに、新たな公共交通の導入に向け、調査結果の具体化するための実施計画を早急に検討し、適切な進捗管理の下、実施してください。 ・平成26年度の実証運行に当たっては、平成25年度事業で実施した住民ニーズ調査及び実証運行の結果を再検証し、地域にとって真に必要な交通の目的や対象を明確にした上で、既存の公共交通との乗り継ぎ及び市内各施設等との接続に優先度を設定し、地域の実情に合致した新たな公共交通を見出してください。 ・新たな公共交通の導入に当たっては、平成28年度(平成27年10月～)地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)の活用を目処として、事業の適切な進行管理に努めてください。 ・地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)の活用にあたって必要となる生活交通ネットワーク計画を策定する際は、「事業評価を通じた地域公共交通確保維持改善事業の効果的実施に向けて(ガイダンス)」(15頁～17頁)に基づき、目的の整理や目標(指標・目標値)の設定等について留意してください。 	